

# ほっとファミリー (里親) × 市議会

今回はほっとファミリー※(里親)の皆さんにお集まりいただき、里親になったきっかけや子育ての様子などについてお話を伺いました。

※ほっとファミリー  
東京都が推進する「養育家庭制度」の愛称



参加者の自由で活発な発言を促す観点から、氏名等の掲載は控えています。

年々、正月とかに帰ってくる人が増えてくるって嬉しいのが面白いというか、楽しい

〈里親になったきっかけは?〉

■子育てが終わったけど、まだ子育てしたい、育児が楽しいなと思って ■実子に恵まれない、でも子どもがいてもいいなと夫婦とも思っていたので ■フレンドホームに登録し、施設の子と週末に交流していたら、「うちの子になりたい」と言っていたので ■実子が「弟か妹が欲しいな」と言って。家族会議をして里親になることを決意しました

〈里親になってみて、どうですか?〉

■初めて預かった子には自分の子育ての経験が通用せず苦しかった。でも一緒に暮らしていると不思議と家族になって、愛しいなっになって愛が湧いて育てたせいかな、立派なマザコンになってしまった。顔を思い浮かべるだけで楽しくなる ■両親と同居していたので父に公園デビューしてもらいました ■制度上、里子と言っしかないけど、もう家族だよ

〈里父(パパ)の子育ての様子は?〉

■里親の話は主人から。主人の方が子育てしたい気持ちで強くて。見た目は筋肉マッチョだけど、母性が強いのは主人の方なんです ■最初は消極的だったんです。高学年の男の子がきて「男同士で話して」ということが多くなって夫の出番が多かったですね

〈自立後の里子との関係は?〉

■制度上自立でも、何年面倒を見なきゃならないのか先が見えない。でも自分が産んだ子ならやるのは普通と言われちゃう。産んでも産まなくても一緒 ■育った家が一番の拠り所。年齢が来たから「はい、さようなら」とは言えない。可愛くて育てているんだから ■一時保護から卒業していった子が何人かいて。年々、正月とかに帰ってくる人が増えてくるっていうのが面白いというか、楽しい。ずっと続けていたらどうなるのかな

〈市や市議会に期待することとは?〉

■共働き子育てしやすい街「全国2位の福生市を抜いて欲しい。お金、設備、色々な部分で ■通称名を使っていることを分かっている欲しい。戸籍名で呼ばれるのが嫌な子もいる ■精神疾患がある子、大学に行けない子、働けない子の里親の措置延長を認めて欲しいな



● 第1回臨時会議  
3月定例会議 議案審議 ●

あきる野市の  
こんなことが決まりました。

第1回臨時会議 1月15日  
3月定例会議 会議期間39日間 2月16日～3月26日

第1回臨時会議の議案は	
市長提出議案……………	1件
3月定例会議の議案は	
市長提出議案……………	34件
陳情……………	2件
議員提出議案……………	1件

今号ではこの中から7つを Pick up

全ての議案等の内容と結果は、あきる野市ホームページをご覧ください。ご質問は、議会事務局へお問い合わせください。

〈議案第3号〉 あきる野市特別職の職員の給与に関する条例及びあきる野市教育委員会教育長の給与及び旅費並びに勤務条件に関する条例の一部を改正する条例

Pickup 1  
市長、副市長、教育長の給料月額を引き上げます。

市長の給料月額を86万円から94万6千円にし、副市長の給料月額を74万円から81万4千円に、教育長の給料月額を69万5千円から76万5千円に引き上げます。

こんな質問が出ました。

**A Q** 市三役の給与を引き上げることによる年間の影響額は、年間約550万円の増加と試算している。

**A Q** 市内26市と比較した場合に、あきる野市の三役の給料はどの程度なのか。

令和8年4月1日現在の見込みとして、市長が上から19番目、副市長が上から20番目、教育長が上から16番目。なお、令和7年度中に当市以外4市が増額改定し、令和8年度中に特別職報酬等審議会の開催を予定している市が12市ある。



〈議案第9号〉 あきる野市国民健康保険条例の一部を改正する条例

Pickup 3  
国民健康保険税の負担や軽減対象が変更になります。

子ども・子育て支援金制度の創設に伴い、令和8年4月から国民健康保険税の課税限度額及び低所得者世帯への軽減判定所得の基準額を引き上げます。

こんな質問・意見が出ました。

**AQ** どの程度負担が増えるのか。所得割と均等割で構成されているので、世帯の収入や人数によって異なる。平均の推計では、月々200円から300円程度。

**意見** 子育て支援は、本来国が責任を負うべき。国民健康保険の目的は医療給付を行うことで、目的に合っていないと考える。

国民健康保険は、低所得者の加入者が多いことから、少額であっても負担に感じる人が多くいると考え、反対する。

**意見**

軽減対象が広がる措置というのは基本的に良いことと思う。4分の1の市の負担に関して普通交付税で措置され、市の実質的な負担はないと承知している。また、賦課限度額の引上げは中間所得層の伸び率を抑えられる効果がある。こうした措置に関しても適当と考え、賛成する。



〈議案第8号〉 あきる野市乳幼児の医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例

Pickup 2  
マイナ保険証による医療費助成の資格確認が可能になります

乳幼児、義務教育就学児、高校生等及びひとり親家庭等を対象とした医療費助成事業は令和8年4月からPMHへの接続を開始します。

こんな質問が出ました。

**A Q** 紙の医療証の発行はどうなるのか。  
**A Q** PMHに未対応の医療機関や情報確認ができない場合など、医療証の提示が必要になる場合があるため、医療証の発行は、継続する。

**A Q** マイナンバーカードで医療費助成の資格確認が可能な医療機関のリストは把握しているのか。

デジタル庁のホームページで公開されている「医療費助成オンライン資格確認導入医療機関・薬局リスト」が最新情報である。市民が常に参照できるように、市ホームページにリンクを掲載するなど周知を図っていく。



※PMH 自治体と医療機関をつなぐ情報連携基盤

### Pickup 4

## 小学校維持管理経費の備品購入費を追加します。

小学校の学級数増加に伴う教室数不足に対応するため、備品購入費として2百83万2千円を追加します。

こんな質問が出ました。

**A** 教室の不足数、学年別の内訳、今後の対応方針は。

**Q** 東秋留小では1年生、6年生の通常学級と特別支援学級が各1学級、合計3学級増加。南秋留小では特別支援学級が3学級増加の見込み。空き教室の活用やパーティションによるスペースの分割等を行い、適切な教育環境の確保に努める予定である。

**AQ** 教室数の不足以外の課題は。特別支援学級への転学ニーズが高まる中、教室不足に加え、通学環境の改善、インクルーシブ教育の推進、就学相談体制の充実の課題があると捉えている。課題解決には、教育委員会だけでなく、保護者や



市民の理解が不可欠である。今後は研修や啓発活動を通じて、特別支援教育への認識を深め、インクルーシブ教育のさらなる定着を図る。

### Pickup 5

## あきる野市・日の出町新学校給食センター新築工事の請負契約を締結します。

建築工事は(株)田中建設と契約金額20億5百30万円、機械設備工事は八重洲・アーイニング特定建設工事共同企業体と15億2千5百70万円、電気設備工事は(有)内田電気商会と6億1千9百49万5千8百円、厨房機械設備工事は(株)アイホー多摩営業所と12億6千7百20万円で締結します。

こんな質問が出ました。

**Q**

令和8年度から9年度までの2か年で施工する建設工事である。設計変更や物価スライド適用等により金額に変更が生じた場合、年度末に契約変更手続を行うことになるのか。令和8年度中に契約金額に変更が生じた場合、軽微な設計変更に伴うものは取扱要領の規定に基づき、年度末までに一括して行い、軽微な設計変更には該当しないものは、都度、契約変更の手続きを行うこととなる。



### Pickup 6

## 『非核三原則』を国是として堅持することを求める意見書』は提出しません。

国に対して、「非核三原則」を国是として堅持することを求める意見書を提出しよう求める陳情です。反対議員が多かったため、不採択となりました。

こんな意見が出ました。

**意見** 一国のリーダーが非核三原則に揺らぎを見せている今、市民に最も近い地方議会が非核三原則を断じて護ることのできない、議論の余地なき国是であると捉え、民意を明確な意思として国へ届けるべき。政府が曖昧な姿勢を見せている今こそ、あきる野市平和都市宣言の精神に基づき、平和を希求する市民の声を代表し、本陳情の採択を強く求める。

を信じたので、陳情に賛同しかねる。非核三原則は守るべきものと考えているが、あえて今、国に対して求める事項ではないと判断する。



**意見** 今年2月の特別国会において、高市総理は「現行の政策をしっかりと維持し、堅持する」旨の答弁を本会議場で行っている。その総理の言葉

### Pickup 7

## あきる野市議会の議員定数を1人削減し、20人に改めます。

議員定数に関する特別委員会の議論の経過を踏まえ、議員定数を削減する議案が可決され、市議会議員定数を現行の21人から20人とする事となりました。本改正は令和8年7月19日執行の一般選挙から適用されます。

こんな意見が出ました。

**意見**

議員報酬の引上げに反対してきた立場からすれば、市の財政負担を理由とした定数削減は、容認できるものではない。報酬を改定前に戻すことで現状の定数を維持し、人口減少社会に求められる議会の役割を果たすべく、議会改革に努めるべきと考え、反対する。

**意見**

多様な市民の声を受け止める議員にも、様々な経験等を持つ人、多様な人材が求められる。そのためには、議員の人数は多いほどよい。議員の多様性を後退させるおそれのある議員定数削減が市民のためになるとは考えられない。



**意見**

定数を1人削減することは、議会機能を損なうことなく、議会自らが改革に取り組む姿勢を市民に示すものであり、市民の信頼を確保する上で大きな意義があるものと考え、本議案に賛成する。

**道路維持事業経費(土木費)  
3億5858万円**

**Q** 都立あきる野学園西側の桜の街路樹については、令和7年度に樹木診断を行う予定になっていた。令和8年度に何らかの維持管理作業が行われるのか。



**A** 令和7年6月上旬から7月下旬にかけ、有識者における樹木診断を行った。診断結果として、1年以内の伐採が望ましいとされている樹木が10本確認されているため、令和8年度に伐採等の適正な管理を検討する。

**がん検診事業経費(衛生費)  
1億4572万円**

**Q** 胃がん検診として新たに導入する胃内視鏡検査の実施内容は。



**A** 対象は50歳以上で2年に1回の受診。自己負担額は原則3000円を予定。市内6医療機関で実施予定で、経口・経鼻を選択できるようにしていく。鎮静剤等は使用せず、日常診療の内視鏡検査で用いる麻酔を使用する。

**Q** 内視鏡検査と従来のバリウム検査の違いや選択に関する情報の周知方法は。

**A** バリウムによるX線検査との違いや、それぞれの特徴を分かりやすく説明した案内を作成し、受診勧奨時に同封する予定。また、市広報紙やホームページ、公式LINEを活用。

**認定調査経費(介護保険特別会計・総務費)  
5393万円**

**Q** 認定申請の状況や認定までの期間をどう見込んだのか。

**A** 申請件数は時期により増減し、今年度の直近までの平均は40日弱である。更新予定時期や新規申請の状況を踏まえ計上している。



**Q** 認定者数の推移の状況は。

**A** 令和7年10月1日現在において4305人で、5年前と比較すると701人増、約1.2倍である。

**Q** 人員体制の状況や改善の取組をどう反映させたのか。

**A** 人員配置は確定していない。令和7年度から介護支援専門員の資格を持った個人委託による調査を導入した。令和8年度も継続する。

**校内別室指導支援員配置事業経費(教育費)  
1066万円**

**Q** 令和7年度は3校に配置していたが、約800万円を増額して全校に拡充する理由と支援員の配置予定は。



**A** 校内別室指導支援員を配置した学校からは、非常に有効であった、引き続き支援員を配置してほしいとの意見・要望を受けている。また、全校に配置した校内カラフルルームの活用が進み、再び登校できるようになるなど、一定の効果も複数把握している。さらに他の学校からも支援員の配置を希望する声が多くあげられたことから、拡充を検討してきた。支援員の配置については、1日3時間、週4日を考えている。

令和8年度予算案をチェック  
**税金の使い道について質問しました。**

市長から令和8年度の予算案が提案され、3月17日・18日の2日間、予算特別委員会を開催し、皆さんに納めていただく税金の使い道を審査しました。その結果、本会議において全ての予算案が提案どおり可決され、令和8年度の税金の使い道が決まりました。予算特別委員会での質疑の内容の一部を紹介します。

**令和8年度会計別予算**

一般会計	389億3930万円
特別会計	
国民健康保険	81億7096万円
後期高齢者医療	29億7872万円
介護保険	81億7254万円
戸倉財産区	318万円
テレビ共同受信事業	4308万円
秋多都市計画事業武蔵引田駅北口土地区画整理事業	9億2452万円
公営企業会計	
下水道事業	41億9083万円
合計	634億2317万円

(※千円以下切り捨て)

※下水道事業会計の予算の規模は、支出予算の総額として表記しています。

※金額は、表示単位未満を切り捨てしており、端数処理の関係で、合計数値が合わないことがあります。

**重層的支援体制整備事業経費(民生費)  
37万円**

**Q** 事業の内容と特徴は。

**A** 相談支援、参加支援、地域づくり支援を一体的に実施し、既存事業を統合。多機関協働やアウトリーチによる継続支援を加え、相談を断らない体制を構築し、複雑化する支援ニーズに対応する。



**Q** 重層的支援会議に、本人や家族、地域関係者の参加を想定しているのか。

**A** 関係機関の参加を基本としつつ、本人にとって有益と判断される場合には、本人や家族の参加も想定している。

**市長選挙・市議会議員選挙執行経費(総務費)  
7725万円**

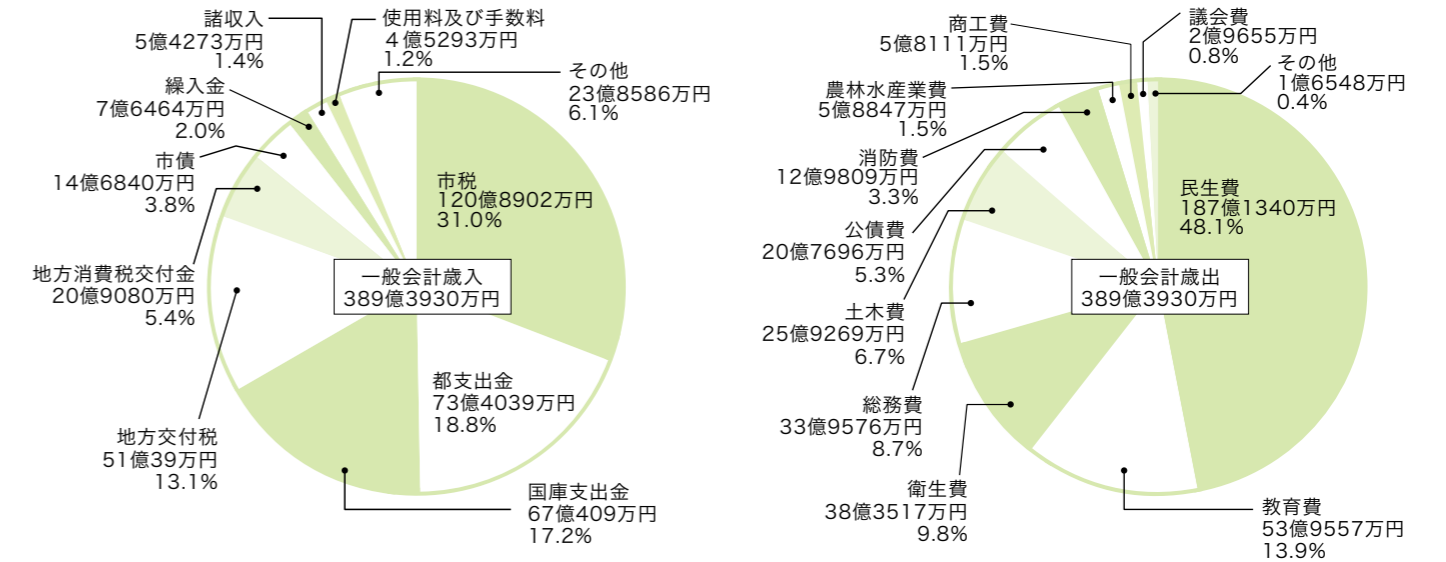
**Q** 市長・市議選が同日になった経緯と節約された経費は。



**A** 公職選挙法の特例を活用し同日選挙とすることで、経費削減や市民負担軽減、投票率向上が期待できることから、選挙管理委員会において全会一致で同日実施を決定した。別々に行う場合の金額(約1億1千万円)と比べ、約3割の経費削減が見込まれる。

## このような理由で一般会計予算案に賛成・反対しました。

定例会議最終日に、予算特別委員会で審査した結果を堀江武史委員長が報告し、令和8年度一般会計予算案の内容について、賛成又は反対の討論を行いました。討論の主な内容を掲載します。



※金額は、表示単位未満を切り捨てしており、端数処理の関係で、合計数値が合わないことがあります。

### 公明党

賛成

市民の暮らしに寄り添い、現場の声をもとに政策提案を重ねてきたが、その視点に立ち総合的に判断した。市税収入は約2.5%増が見込まれるが、物価上昇は市民生活に大きく影響。物価高騰は事業コストに影響し、起債約14億円に対し将来利子負担は約3億円と試算され、編成には選択と集中が求められる。限られた財源の中、胃がん検診の内視鏡検査導入、妊婦RSワクチン、5歳児健診、生活学習支援の高校生年代までの拡充、高齢者補聴器購入費助成、デマンド交通の拡充等施策は前進。不登校や介護、生活困窮、8050問題など複合的課題への重層的支援も進む。今後は、必要な人に確実に支援が届く実効性と財政の持続可能性を進めていくことを求め、賛成した。



原田議員

### くさしぎ

反対

武蔵引田駅北口土地区画整理事業の保留地の完売を前提に、繰入金4億円が計上されていることは不安材料の一つ。重層的支援体制整備事業を直営で始めたことは大変意義があり、事業を担う職員の人材育成にも力を入れていただきたい。それだけに国都交付金の増額が事業経費の増額につながっていないことは疑問。令和8年度はさらに、稼ぐ力として移住・定住、ふるさと納税等に力点が置かれるだろうが、所詮、限られたパイの奪い合いに過ぎない。人口減少という未踏の社会課題に立ち向かう中、不毛な競争に力を注ぐのではなく、いかに賢く縮み、心豊かに暮らせる社会を創造していくか、自治体の核心的な使命に貴重な財源とマンパワーを使うべき。



辻議員

### 明るい未来を創る会

賛成

令和8年度一般会計予算は、389億3930万円で、前年度比10億1395万円、率にして2.7%増。歳入中、国、都支出金は、私立保育所運営、重層的支援体制整備事業などを計上したことにより、増を見込んでいる。市債残高は、一般会計、特別会計、公営企業会計及び一部事務組合の会計で425億4550万円を見込んでいる。歳出は主要事業中、市単独事業は新規及び前年度からの継続を合わせて40件29億3850万円。この厳しい財政状況の中で、多様化する課題に重点的、効率的に対応している。



清水議員

### 自由民主党 志清会

賛成

令和8年度あきる野市一般会計予算は前年度比2.7%増の389億円余で、厳しい経済状況下においても多様な市民ニーズに対応した内容と評価し賛成する。移住・定住促進や子育て支援の充実、都市整備・交通利便性向上、観光振興、防災・防犯対策、獣害対策、福祉、教育施策などがバランスよく盛り込まれている。行財政改革とDXを推進し、「稼ぐ力」と「推進力」を高め持続可能なまちづくりを求める。



天野議員

### 日本共産党 あきる野市議団

反対

市民の暮らしを支える施策が必要。最低賃金引上げでも物価の上昇に追いつかない。子どもの学習・生活支援対象が高校生まで拡大。スクールソーシャルワーカーなど、子どもに寄り添う姿勢は評価する。補聴器購入費助成がようやく始まるが、現時点では不十分。対象拡大を。修学旅行・移動教室補助金額の引上げを検討すべき。義務教育における保護者負担軽減を。旧五日市地域の補助交通導入と、福祉的な交通の検討を。フレア五日市は十分な利用がない。稼ぐ施設にするほど住民福祉から外れ、残念。平和都市宣言を生かした独自の施策を求める。



たばた議員



堀江予算特別委員会委員長

聞いてみたいな

こんなこと



# 一般質問

## 一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？

質問議員 19人 質問項目 44件

一般質問の全ての内容を動画で視聴できます。市ホームページの「市議会から」本会議録画中継を検索するか、スマートフォンやタブレットで2次元コードを読み取りご覧ください。

## 不登校児童・生徒の健康支援について



よしざわゆたか (自民党志清会)



**Q** 学校保健安全法に基づく健康診断は、毎学年に1回、6月30日までに行うものとされているが、病気などやむを得ない事由で学校での健康診断を受けられなかった場合は、その事由がなくなった後、速やかに健康診断を行うものとされている。しかし、不登校児童・生徒は学校での健康診断を受けることができないことも考えられる。この場合の本市の対応について伺う。

**A** ており、学校を通じて対象の保護者に周知している。

**Q** 多年度にわたり未受診の子どもに対して教育委員会や学校現場ではどのような取組をされているか。

**A** 各学校においては、対象の保護者に対し、通知や電話連絡の際に受診を促している。

**A** 対象の児童・生徒が、学校の医療機関や学校ごとに割り当てられた眼科、耳鼻科で直接受診ができるようあきる野市医師会と調整し



## ごみ収集運搬事業について



よし子 たくさ (自民党志清会)



**Q** 特別養護老人ホームに対するごみ収集に関する減額制度を縮小する計画については、事業者への説明に不備があったことを指摘し再検討を求めている。現時点の検討状況は。

**A** 特養の事業者の話し合いが2月20日に行われ、昨日3月9日付で協議会から申出書が提出された。発出された文書を精査し、協議を進めていきたい。

**Q** 4月から特養のごみの収集・運搬を一切しないという非常に大きな変更である。特養は市の指定ごみ袋の購入により、予め収集、運搬及び処分に対する手数料を納付しているにもかかわらず、市が収集・運搬について責任を負わないというのは、制度の在り方として適切か。

**A** 4月から特養のごみの収集・運搬を一切しないという非常に大きな変更である。特養は市の指定ごみ袋の購入により、予め収集、運搬及び処分に対する手数料を納付しているにもかかわらず、市が収集・運搬について責任を負わないというのは、制度の在り方として適切か。



## 町内会・自治会の支援強化について



浦野 治光 (自民党志清会)



**Q** 各町内会・自治会の持続的かつ希望の持てる維持・発展に向けた施策や事業などの支援強化の見解は。

**A** 補助金等の交付や加入促進の支援などに取り組んでいるが、会員減少や役員等の担い手不足が課題であるため、各種補助制度の運用や事務負担の軽減などの支援策を検討するとともに、協働のまちづくりの推進に不可欠な存在であるため、可能な限り支援していく。

**Q** 主な町内会・自治会関係の補助金制度の見直しは。

**A** 会館建設費等補助金の補助対象を60万円以上の工事業から15万円以上の工事に緩和したほか、コミュニティ事業交付金の補助項目も緩和する予定である。他に市民憲章の効果的な活用について質問した。

**Q** 市と町内会・自治会連合会が協議・改善した取組は。

**A** 各種委員の推薦や行政配布物、募金・寄付金活動などの見直しや加入促進対策のほか、新任会長研修会も実施してきた。



## 公共交通の充実について



たばたあずみ  
(共産党)



**Q** 施政方針では公共交通空白地域への対応がおおむね図られたとしている。旧五日市

地域の不便地域への対応は、深沢・盆堀地区でタクシー

**A** 利用助成を開始。道路幅員

や勾配などの課題、需要と供給のバランスなど考慮した検討が必要のため、調査研究を進めている。

**Q** るのバスの運賃が100円から200円に上がる。同様の値上げでバスの利用が

減った自治体もあるが、本市での影響予想は。

**A** 一時的に利用者の減少は想定されるが、移動需要の要因を踏まえると大きな影響

はないものと考えている。

**Q** 生活が苦しい人への影響は大きい。公共交通の組合せ

利用時の割引制度や定額乗り放題、シルバークラスの適用を検討してはどうか。

**A** 利用促進のための手法の一つと認識。導入にあたって

は、福祉的な視点なども含め、分野横断的に限られた財源の中で検討する必要がある。



## 認知症の早期の気づきと見守り体制の強化について



原田ひろこ  
(公明党)



**Q** 認知症は身近な課題であり、早期の気づきの強化と行方不明対策を含めた地域全体

での支援体制整備が重要である。第10期計画策定を踏まえ、質問する。

**A** 第9期計画における認知症

施策全体の成果と課題は、施策全体として成果が上がっていると考えている。課題は初期段階の人を把握する機会を増やすことである。

**Q** 簡易チェックシートや電話、ICTの活用等、気軽に自身の状況を確認できる仕組みを取り入れる考えは。

**A** 認知機能セルフチェックを導入している自治体では、気づきを促すだけでなく、その後の認知症診断や各種施策へつなげていく対応があることも確認している。他自治体の取組も参考に、選択肢の一つとして認知症施策を検討していきたい。



## 若年層健康診査について



子籠 敏人  
(自民党志清会)



**Q** 令和6年3月定例会議の一般質問で、若年層健康診査

について質問した。その後の検討状況や今後について伺う。

**A** 多摩26市のうち、現在、17

市が実施している。また、厚生労働省では、社会保障審議会医療保険部会において、若年層を対象とした健康診の見直しに関する取組を紹介するなど議論がされている。市としては、若年期から健康管理に対する意識を高め、いく取組は重要であると認識している。ので、あきる野市医師会の意見を伺いながら検討していきたい。



## 西多摩地域における広域連携の現状と課題について



ひはら 省吾  
(自民党志清会)



**Q** 本市は、少子高齢化、公共施設の老朽化等、単独の自治体では対応が困難な課題

に対し、西多摩地域広域行政圏協議会に属し、近隣自治体と連携した取組を進めている。

**A** 公共施設の活用やスポーツ

による地域の活性化、住民サービスの向上における、本市が関わる事業の現状について、市の認識は。

**Q** 図書館以外の公共施設の広域利用は、課題があり難しさもあるが、現在どのような検討がされているのか伺う。

**A** 公共施設の広域利用は、同一料金としていない施設の見直し可能な施設を抽出・選定し個別に検討しているが、本市を含め市内・市外料金を設定している施設もあり、同一料金の設定には至っていない。今後は調査結果や他自治体の事例を参考に、料金設定や予約システムの統一について検討する。

**A** 図書館の広域利用やスポーツ大会は住民サービスの向上や地域の活性化に寄与している一方、公共施設の広域利用は使用料の設定や予約システムの統一などの課題があり、相互利用できる公共施設の情報発信にとどまっている。



## 道路環境整備について



関口 えり子  
(共産党)



**Q** 氷沢橋交差点においては、羽村大橋から来る右折車が多くしばしば渋滞を起こしていることから、以前より氷沢橋交差点に右折矢印信号の設置を要望してきたが、どのような状況になっていくか。

**A** 用地取得済みの区間から整備工事を進めており、今後永田橋交差点付近の事業用地の一部を活用して歩道の拡幅を行う予定とのこと。

**Q** 秋多都市計画道路3・4・6号線の歩道拡幅の進捗状況は。

**A** 歩道の開通はいつ頃になるかこの春ごろの開通を目指している」と認識している。

**Q** 氷沢橋交差点の右折矢印信号の設置については、これまでも福生警察に要望してきたが、設置には至っていません。今年度の要望に対しては、草花大橋の開通を踏まえ、交差点の交通実態等を勘案し信号機の改良の必要性を検討する、との回答を得たところ。

**A** 市で配備したものを対象に、毎年、各分団を通じて状況を調査し、保有する装備品の種類、数量及び状態を把握し、適切に管理している。

**Q** 消防団員の装備について、現在の状況は。

**A** 市で配備したものを対象に、毎年、各分団を通じて状況を調査し、保有する装備品の種類、数量及び状態を把握し、適切に管理している。

**Q** 装備品の老朽化や性能面について、市はどのように把握し、対応しているのか。

**A** 故障や破損が確認された装備品は、各分団長からの報告を踏まえ、適宜修理や交換を行っている。



## 消防団員の装備の充実に ついて



中村 一広  
(自民党志清会)



**Q** 消防団員に支給している長靴は、どのような長靴なのか。また、今後の対応は。

**A** ゴム長靴は、ガラス片や釘が靴底を貫通しないよう踏み抜き防止対策をとった物となっている。令和8年度予算で、踏み抜き防止に加え、落下物からつま先を保護する鋼鉄製先芯入りで、履き口にカバーを備えたゴム長靴を、機別団員を含む全団員に貸与する。

他に学校給食におけるアレルギー対応について質問した。



## 特別支援学級の現状と課題について



村野 栄一  
(自民党志清会)



**Q** 過去5年間の利用状況の推移と設置の現状は。

**A** 令和3年度から7年度の間、児童・生徒の在籍数は184人、189人、197人、214人、230人。設置状況は知的障害特別学級が小学校4校、中学校2校、自閉症・情緒障害特別学級が小学校1校、中学校1校。

**Q** 専門医や心理士の派遣頻度が不十分と感じる。保護者が直接専門医のアドバイスを求める、セカンドオピニオンなど伴走支援をICTを活用して随時出来る仕組みが必要ではないか。

**A** ICTを活用した随時相談は有効な手段と考える。専門家の助言を即座に指導計画に反映させ、関係諸機関で共有できるようにする等、先進事例等の調査・研究をする。

**Q** 特別学級から通常学級へ行く場合、通常の学級に戻ることを想定して、試行期間の弾力的な運用でチャレンジできる事例など教えて欲しい。

**A** 実技教科や給食など部分的に移行し、疲れや不安を感じ



## 災害時の通信確保のための衛星通信サービス導入について



大久保 昌代  
(公明党)



**Q** 衛星通信サービス(スターリンク等)に対する本市の認識は。

**A** 衛星を介したWi-Fi環境の構築によりインターネット回線を確保でき、有効な通信手段の一つと認識しており、保有する機器を状況に応じて適切に活用する。

他に女性の健康支援とがん対策の充実、中高生の居場所づくりについて質問した。

**Q** 現在、衛星通信サービス(スターリンク等)は、地上通信網に依存せず通信を確保でき、災害時の緊急通信手段として、その重要性は高まっている。

**A** 現在、衛星通信サービス(スターリンク等)は、地上通信網に依存せず通信を確保でき、災害時の緊急通信手段として、その重要性は高まっている。

**Q** 現在の通信手段確保体制の課題をどう認識しているのか。

**A** 無線機を使用した訓練機会の拡充が必要な点が課題と認識している。



## 金利上昇による自治体 財政への影響について



増崎 俊宏  
(公明党)



現在、私たちは長らく続いた物価が上がらない、金利が低いという時代から、急激な物価高騰と金利上昇という新しい経済環境に直面している。そこで以下伺う。

**Q** 市債の返済等において、金利が上がることによって将来的に利払いの負担がどの程度増えるかと想定しているか。

**A** 市債9億1560万円償還期間15年、措置期間3年、想定利率2・4%で借入れを行った場合、利子総額は約2億1000万円。同じ条件下で想定利率を3・4%とした場合、利子総額は約3億円で約9000万円の増加という試算になる。

**Q** 金利の負担増に対してどのような対策を考えているか。

**A** 利率の上昇に伴う利子の増加を抑えていくため、市債の新規発行を抑制し、年度ごとの起債を償還元金を上回らない額とすることで市債残高の減少を図る。

**Q** 新学校給食センターについて、基本計画時の概算事業費と、最新の物価・金利見込みを反映した現在価格との差額はいくらか。

**A** 基本計画時の事業費が約50億3000万円。現在価格が約71億8000万円。その差額は約21億5000万円の増加となる。

## テレビ共同受信について



清水 晃  
(明るい未来)



**Q** 市のテレビ共同受信施設は、電波障害対策として東京電力が整備した共聴アンテナによる受信施設である。テレビ共同受信の現状と課題は。

**A** 受信施設は、五日市南部地区、五日市中部地区、深沢地区、小宮地区、網代地区及び菅生地区の6受信点であり、令和7年度当初の加入件数は3810戸となっている。課題としては、基金残高の減少に伴う今後の事業運用や運営形態の見直し、施設の老朽化への対応などが挙げられる。

**Q** あきる野市テレビ共同受信検討会の構成と協議課題は。

**A** 有識者1人、施設保守事業者1人、受信区域内の町内会・自治会長4人、市職員3人の9人で構成されている。多様化する視聴方法を踏まえた中で、個人負担も含めて、視聴環境や事業運営の在り方について協議、検討を始めたところである。他に、令和8年度施政方針について質問した。



## 緑内障について



中村のりひと  
(明るい未来)



**Q** 緑内障は中途失明原因の第1位であり、早期発見が極めて重要な疾患である。緑内障の早期発見を目的とした取組は制度として位置付けられていない。市の健康施策の中で、この課題をどのように位置付けているのか。

**A** 緑内障は、失明や視力低下を原因として、将来、要支援や要介護状態となるリスクにつながるなど、健康維持への影響がある疾患と認識している。現在、市の健康増進計画において、緑内障に関して、具体的に健康施策への位置づけはしていないが、令和10年度から計画期間とする第三次あきる野市健康増進計画の策定に

当たり、国の動向等を注視したい。

**Q** 父が、緑内障で全盲となり、現在は要介護の状態。視覚障害は生活の質の低下だけでなく、転倒や外出機会の減少などを通じて要介護化にもつながる。失明してから支えるのではなく、失明を防ぐ施策こそ重要。緑内障の早期発見に向けた検診制度の検討について、改めて市の見解を伺う。

**A** 早期発見や早期治療につなげる取組は重要。現時点では、特定健診の受診率向上に取り組み、早期発見の機会を増やすことで、早期治療につなげる。

## 認知症初期集中支援推進事業について



しょうじ さとし  
(明るい未来)



**Q** 本市の事業目的はどのようなものか。

**A** 認知症の人や家族に早期に関わり、初期の支援を集中的に行うことで、早期診断・早期対応につなげ、認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れた地域での暮らしが継続できることである。

**Q** 既に介護サービスを受けている人も事業の対象者である。実際に、介護認定を受けている人や介護サービスを受けている人の利用はあ

**Q** 当該事業の要綱には、身体を整えるケアとあるが、どのようなものか。

**A** 支援対象者の身体状況から判断し、水分摂取、食事摂取、排泄、運動等への助言をすることが挙げられる。

**A** 要介護・要支援認定を受けている人で、認知症に伴い介護サービス等の拒否や徘徊などの行動、心理的な症状があったため、支援をしたケースがある。

他に障がい者福祉の推進、児童虐待防止について質問した。



## 圏央道が通るあきる野市の可能性について



国松まさき  
(自民党志清会)



**Q** あきる野市第2次総合計画では、本市の経済基盤の強化に向け、都心への近接性や圏央道整備の効果といった地理的優位性を生かした産業振興の必要性が示されている。圏央道あきる野インターチェンジ及び日の出インターチェンジ周辺をはじめとする広域交通の優位性を最大限に活用し、企業誘致や物流機能の集積、観光振興、さらには農業の高付加価値化などを通じて、本市の持続的な産業振興につなげるため、今後どのような土地利用方針及び具体的な戦略をもって取り組んでいくのか。



**A** 圏央道のインターチェンジ周辺地区などにおいては、計画的な企業立地に取り組み、H.U.グループホールディングスや初雁地区の印刷会社などの企業が進出し、雇用創出や市税の増収につながるなど、産業基盤の強化に寄与している。今後についても、市の総合計画などを踏まえながら、地域特性に応じた適正な土地利用の誘導を図るとともに、産業界市街地の形成に向けて、引き続き、関係機関と連携しながら、基盤整備に取り組んでいく。

## 学校におけるジェンダー教育について



松本 ゆき子  
(共産党)



**Q** 令和7年12月18日、東京都は前田小学校と連携し、幼少期から性別に捉われない自由な選択や自分らしい生き方を学び自身の可能性を広げることになるようにと、5、6年生を対象に、性別による「無意識の思い込み(アンコンシヤス・バイアス)」をテーマに公開授業を行った。前田小学校が公開授業の対象校になった経緯は。

**A** 今回のような人権に関わる取り組みがあれば何う。

**Q** 都立あきる野学園、近隣の幼稚園や保育園、地域の高齢者との交流を通じ、相手のことを考え、自分自身を見つめ直す活動を積み重ねることで、自分のことも相手のことも大切にする児童の育成を図っている。

**A** 同校が令和6、7年度に都の人権尊重教育推進校に指定され、公開授業の実施元である都の生活文化局から協力の依頼を受けた。



**Q** 公開授業について、教育委員会には、どのように捉えているか。

**A** 日常生活や職業に対する性別による思い込みについて話し合うプロセスを通じ、自身の性別による決めつけ

## 武蔵引田駅周辺の都市基盤整備について



堀江 武史  
(自民党志清会)



**Q** 武蔵引田駅北口土地画整理事業において、地区の中心となる武蔵引田駅北口駅前広場が完成し、以前から提案していた安兵衛桜の子孫を武蔵引田駅北口駅前広場に植樹することもできた。今後、本市を持続的に発展させていくためには、都市基盤整備の更なる充実が必要と考え、質問する。

**A** 秋多都市計画道路3・4・13号線の進捗状況は。JR五日市線の南側区間については、令和6年度までに計った測量を基に、詳細設計に向けた検討を行っている。

**Q** 本事業の来年度のスケジュールは。

**A** 区画整理地区内の税の増加分はどのくらいか。

**Q** 2つの公園の整備工事に加え、地区内案内板や防犯カメラなどの設置を予定。地権者へ最終の個別説明会を開催する。



**A** 土地の使用収益開始前令和3年度と令和7年度の調定額と比較すると、個人市民税、法人市民税、固定資産税、都市計画税の合計で約1億8600万円増加している。

## 市内の外国人生活者について



天野 正昭  
(自民党志清会)



**Q** 近年、全国的に外国人住民が増加しているが、本市における外国人住民数の推移、国籍別内訳、在留資格の傾向、また生活支援の現状について、市はどのように把握しているか。

**A** 平成27年3月末時点で、664人、令和7年3月末には1578人と、この10年間で約2・4倍に増加している。国籍はベトナム、中国、フィリピンの順になっている。在留資格としては技能実習や特定技能による在留者が増加している。生活支援については、市の窓口にも多言語翻訳機を設置して対応している。また、ボランティア団体を介してヒアリングを行い、困りごとの確認や生活状況の把握に努めている。



# あきる野市議会活動レポート

## ようこそあきる野市へ

～令和7年度 議会だより行政視察受け入れ状況～



市議会では、議会だよりのリニューアルや編集方法について、全国各地の議会から行政視察の受け入れを行っています。令和7年度は9市議会の視察を受け入れました。広報広聴委員が説明を行い、質疑応答や意見交換を通じて、スキルアップにもなっています。

## 議員研修会を行いました



1月23日に議員研修会を開催し、東京都総務局総合防災部長 高田 照之 氏から「東京都の防災について」の講義を受けました。

**音声版 点字版 議会だよりのご案内**

視覚障がいのある方や、高齢で議会だよりを読むことが困難な方などのために、ボランティアの皆さんによる「音声版ギカイの時間」と、「点字版ギカイの時間」を発行しています。


ご家族やお知り合いで希望する方がいましたら、ご案内にご協力をお願いします。

ご希望の方は、あきる野市社会福祉協議会（電話595-9033）へ問い合わせてください。

**「ギカイの時間」を郵送でお届けします。**

議会だより「ギカイの時間」は、議会の活動内容を市民の皆さんにお知らせするため、定例会議ごと年4回発行しています。新聞折り込みで各家庭に配布しているほか、市役所や図書館、公民館などの公共施設や、市内5駅にある市民ポストなどにも置いてあります。また、市内の金融機関や農協、郵便局で閲覧することができます。さらに多くの方々にも読んでいただくため、郵送でお届けするサービスを行っています。

ご希望の方は、議会事務局（558-1111）までご連絡ください。



**議員定数に関する特別委員会報告書をまとめ、調査を終了しました。**

市議会では、令和7年3月27日に議員定数に関する特別委員会を設置し、計14回にわたり委員会を開催しました。熟議を重ねた結果、議員定数の在り方について一定の方向性が示されたことから、その内容を報告書として取りまとめました。


なお、本報告書は、令和7年11月27日の本会議で報告しました。

**報告書の内容**

- 1 議員定数に関する特別委員会設置について
- 2 検討結果
- 3 検討結果に至る主な意見
- 4 委員会の開催年月日及び協議事項
- 5 議員定数に関する特別委員会委員名簿

※報告書の全文は市議会ホームページ及び議会事務局でも閲覧できます。

報告書の全文は▼



## 主な議案等に対する会派の賛否一覧

議案等番号	件名	議決結果	自由民主党 志清会 (11人) ※1	公明党 (3人)	日本共産党 あきる野市議団 (3人)	明るい未来を創る会 (2人)	くさしぎ (1人)	リメンバー (1人)
議案 3	あきる野市特別職の職員の給与に関する条例及びあきる野市教育委員会教育長の給与及び旅費並びに勤務条件に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	×	○	×	×
議案 8	あきる野市乳幼児の医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	×	○
議案 9	あきる野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	×	○	×	○
議案 15	令和7年度あきる野市一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○
議案 29-32	あきる野市・日の出町新学校給食センター新築工事(債務負担行為)の請負契約について	可決	○	○	○	○	○	○
陳情 8-1	「非核三原則」を国是として堅持することを求める意見書提出に関する陳情	不採択 ※2	×	○	○	○	○	○
議員提出 8-1	あきる野市議会議員定数条例の一部を改正する条例	可決	○	○	×	○	×	×

※1 議長は賛否に加わらない。 ※2 可否同数により議長裁決 ○：賛成 ×：反対